



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月9日

上場会社名 株式会社立花エレテック 上場取引所 東
 コード番号 8159 URL <https://www.tachibana.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 布山尚伸
 問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員管理部門担当 (氏名) 松浦良典 (TEL) 06-6539-2718
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	158,378	△0.9	4,879	△14.9	6,014	△9.4	4,621	△14.6
2025年3月期第3四半期	159,888	△6.4	5,730	△33.9	6,639	△28.9	5,409	△16.4

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 10,549百万円(△99.0%) 2025年3月期第3四半期 5,300百万円(△41.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
		円	銭
2026年3月期第3四半期	203.99	—	
2025年3月期第3四半期	228.83	—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2026年3月期第3四半期	175,527		101,055		57.6	
2025年3月期	165,416		94,992		57.4	

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 101,055百万円 2025年3月期 94,992百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 100.00
2026年3月期	—	50.00	—	—	
2026年3月期(予想)				50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
通期	225,000	2.2	7,500	△8.8	8,000	△7.9	5,500	△21.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期3Q	25,025,242株	2025年3月期	25,025,242株
2026年3月期3Q	2,823,461株	2025年3月期	2,048,062株
2026年3月期3Q	22,653,004株	2025年3月期3Q	23,640,540株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(四半期連結貸借対照表関係)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、米国の通商政策による影響、中国市場の需要低迷並びに資源価格や原材料価格の高騰、為替の影響等により依然として先行きは不透明な状況が続いておりますが、市況は緩やかに回復に向かっております。

当社企業グループが関係する業界におきましても業況は一様ではなく、依然として市場における在庫調整の動きは継続しており、F Aシステム事業、半導体デバイス事業でその影響を受けました。

このような状況下にあって、5カ年の中長期経営計画「NEW C. C. J2200」の最終年度となる当事業年度は、これまでに掲げてきた各事業の営業戦略と計画を高いレベルで実行できるよう鋭意取組んでおります。また、来るべき未来社会に選ばれる技術商社として、お客様の現場の課題解決に向けた当社企業グループのソリューション提案事例を広くアピールすべく、当事業年度も世界最大級の食品製造総合展「FOOMA JAPAN 2025」などの業界主催の展示会に多く出展して、ビジネス機会の創出と拡大に取り組んでおります。また、海外においては、成長著しいインドでの拡販に向けて、サプライヤーや協力会社との関係を構築し、次年度に向けた基盤固めを行なっております。更に、DXの推進、人財の確保など、中長期を見据えた必要投資についても継続的に実行しております。

以上の背景から、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,583億78百万円（前年同期比0.9%減）、営業利益48億79百万円（前年同期比14.9%減）、経常利益60億14百万円（前年同期比9.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益46億21百万円（前年同期比14.6%減）となりました。

セグメント別については以下のとおりであります。

〔F Aシステム事業〕

売上高：779億93百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益：33億30百万円（前年同期比6.3%減）

F A機器分野では、一部の顧客で在庫調整の影響が長期化する中で、主力機器製品が減少しました。一方で注力しているシステムソリューションビジネスでは、引き合い案件が増加し、大きく伸長しました。産業機械分野では、工作機械が減少しましたが、レーザー加工機と自動化設備が伸長しました。産業デバイスコンポーネント分野では、OSの更新需要により情報通信機器の販売が伸長しました。なお、前年同期が好調であった鉄鋼プラント向け大型設備は案件少なく、大幅に減少しました。

子会社においては、半導体製造装置関連向けを中心に接続機器は堅調に推移しましたが、自動車関連向けの制御機器が減少しました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比2.0%減少となりました。

〔半導体デバイス事業〕

売上高：625億62百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益：10億80百万円（前年同期比42.6%減）

半導体デバイス事業では、半導体分野でパワーモジュール、メモリーなどが伸長しましたが、国内外ともに顧客の需要見極めを含む調整局面が継続しました。電子デバイス分野では、イメージセンサーが減少したものの、液晶並びにSSD（Solid State Drive）は大きく伸長しました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比4.1%増加となりました。

〔施設事業〕

売上高：130億35百万円（前年同期比16.5%減）、営業利益：4億11百万円（前年同期比77.4%増）

施設事業では、酷暑の影響によりルームエアコンが大幅に伸長したほか、大型案件の受注により業務用熱交換器も大きく伸長しました。また、店舗用パッケージエアコン及びLED照明は堅調に推移し、非常用発電設備も売上に寄与しました。

一方で、特高受配電設備及び監視制御設備は、当該期間に大型案件が少なかったことから減少しました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比16.5%減少となりました。

〔その他〕

売上高：47億87百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益：56百万円（前年同期比5.3%減）

MM S（金属加工製造受託）分野では、主力の立体駐車場向けの部材は下期に入り受注が弱含みとなりました。E M S（電子機器製造受託）分野では、プラットフォーム可動柵は微減となるも、家電向け液晶基板ビジネスや住設機器向けリモコンの基板ビジネスは好調に推移しました。

その結果、その他事業全体の売上高は、前年同期比4.5%増加となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて101億11百万円増加の1,755億27百万円となりました。この主な要因は、投資有価証券の増加92億30百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて40億48百万円増加の744億72百万円となりました。この主な要因は、固定負債のその他に含まれる繰延税金負債の増加29億29百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて60億62百万円増加の1,010億55百万円となりました。この主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加65億40百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月12日に公表いたしました業績予想を据え置いております。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,069	24,861
受取手形、売掛金及び契約資産	67,018	※ 66,135
有価証券	200	398
棚卸資産	34,867	34,569
その他	4,145	4,450
貸倒引当金	△60	△64
流動資産合計	130,240	130,349
固定資産		
有形固定資産	5,164	5,421
無形固定資産	1,262	1,697
投資その他の資産		
投資有価証券	25,794	35,024
退職給付に係る資産	1,704	1,704
その他	1,326	1,407
貸倒引当金	△76	△76
投資その他の資産合計	28,748	38,059
固定資産合計	35,175	45,177
資産合計	165,416	175,527
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,563	※ 44,868
短期借入金	3,267	4,752
未払法人税等	1,473	991
賞与引当金	1,289	690
その他	7,139	7,298
流動負債合計	57,733	58,600
固定負債		
長期借入金	7,250	7,535
長期未払法人税等	6	—
退職給付に係る負債	669	713
その他	4,764	7,622
固定負債合計	12,690	15,871
負債合計	70,423	74,472

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,874	5,874
資本剰余金	6,146	6,146
利益剰余金	75,741	78,090
自己株式	△5,746	△7,961
株主資本合計	82,016	82,150
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,405	15,945
繰延ヘッジ損益	△0	△2
為替換算調整勘定	3,026	2,498
退職給付に係る調整累計額	545	464
その他の包括利益累計額合計	12,976	18,904
純資産合計	94,992	101,055
負債純資産合計	165,416	175,527

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	159,888	158,378
売上原価	138,653	137,649
売上総利益	21,234	20,729
販売費及び一般管理費	15,504	15,850
営業利益	5,730	4,879
営業外収益		
受取利息	113	193
受取配当金	473	535
為替差益	321	429
その他	128	98
営業外収益合計	1,037	1,257
営業外費用		
支払利息	99	85
その他	28	36
営業外費用合計	127	121
経常利益	6,639	6,014
特別利益		
固定資産売却益	666	221
投資有価証券売却益	606	573
特別利益合計	1,272	795
特別損失		
固定資産除却損	—	90
投資有価証券評価損	38	—
特別損失合計	38	90
税金等調整前四半期純利益	7,873	6,720
法人税等	2,464	2,098
四半期純利益	5,409	4,621
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,409	4,621

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	5,409	4,621
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△228	6,540
繰延ヘッジ損益	0	△2
為替換算調整勘定	201	△528
退職給付に係る調整額	△83	△80
その他の包括利益合計	△109	5,928
四半期包括利益	5,300	10,549
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,300	10,549
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

当社は、2024年5月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式765,000株の取得を行っております。当該自己株式の取得等により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が21億35百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が51億46百万円となっております。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

当社は、2025年5月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式775,000株の取得を行っております。当該自己株式の取得等により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が22億14百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が79億61百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

※ 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

また、当第3四半期連結会計期間末日約定決済の以下の売掛金及び買掛金が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
受取手形	—	1,373 百万円
支払手形	—	2,211〃
売掛金	—	1,140〃
買掛金	—	3,605〃

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	399百万円	493百万円

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	施設事業	計				
売上高								
日本	77,713	37,411	15,606	130,731	4,236	134,968	—	134,968
アジア他	1,892	22,681	—	24,574	345	24,919	—	24,919
顧客との契約から 生じる収益	79,606	60,093	15,606	155,306	4,581	159,888	—	159,888
外部顧客への売上高	79,606	60,093	15,606	155,306	4,581	159,888	—	159,888
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	79,606	60,093	15,606	155,306	4,581	159,888	—	159,888
セグメント利益(営業利益)	3,556	1,882	232	5,670	59	5,730	—	5,730

(注) 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「MS事業」を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	施設事業	計				
売上高								
日本	75,807	37,163	13,035	126,007	4,229	130,236	—	130,236
アジア他	2,185	25,398	—	27,584	558	28,142	—	28,142
顧客との契約から 生じる収益	77,993	62,562	13,035	153,591	4,787	158,378	—	158,378
外部顧客への売上高	77,993	62,562	13,035	153,591	4,787	158,378	—	158,378
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	77,993	62,562	13,035	153,591	4,787	158,378	—	158,378
セグメント利益(営業利益)	3,330	1,080	411	4,822	56	4,879	—	4,879

(注) 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「MS事業」を含んでおります。